能

盛久

松山　隆之

大日方　寛

間　内藤　連

柿原　弘和

田邊　恭資

一噌　隆之

≪休憩十五分予定≫

狂言

花盗人

野村　万作

石田　幸雄

≪休憩十五分予定≫

能

山姥

川口　晃平

山中　迂晶

福王　和幸

間　深田　博治

大倉慶乃助

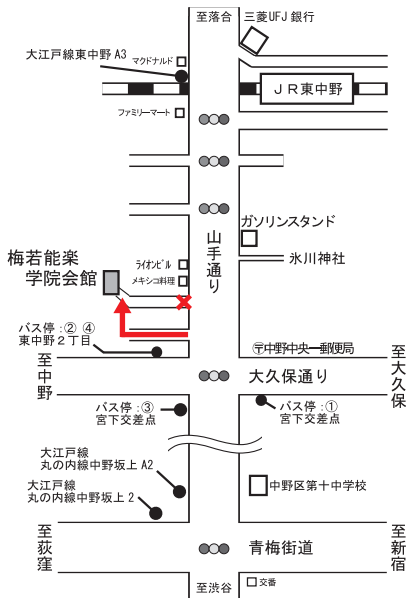
曽和伊喜夫

小寺真佐人

藤田　貴寛

『盛久』～もりひさ～京に隠れていた軍将、主馬判官盛久は、源氏に捕らえられ関東へと送られた。途中警固の武士、土屋三郎に許されて日頃信仰する清水寺へ最後の参詣をし鎌倉へ着いた。処刑は明日早暁に迫り読経を終え、ふとまどろんだ盛久は清水観音の霊夢を見た。やがて処刑の時刻になり、盛久は金文字のお経を手に由比ヶ浜へひかれてゆく。太刀取りが盛久の背後から太刀を振り下ろしたが、手にしたお経から発する光に目がくらみ、思わず落とした太刀が二つに折れた。盛久は将軍源頼朝の前に召し出され、霊夢の内容を語ると頼朝も全く同じ夢であった。奇特に思った頼朝は罪を赦し、盛久に盃を与え、勇ましく舞を舞った。

『山姥』～やまんば～山姥の山めぐりの曲舞を舞うことで有名な遊女は百万山姥～ひゃくまやまんば～と巷で呼ばれていた。その遊女が都ノ者と従者を連れて善光寺へ向かう。途中、越後の険しい山道にさしかかると突然あたりが暗くなり、そこに現れた里の女に案内され一行は山女の庵を訪れる。山女は一行に自分が本当の山姥だと正体を明かし、遊女に曲舞の謡を聞かせてほしいと頼む。それを聞いた遊女は驚き曲舞を謡おうとすると、山女は月夜に自分の真の姿を見せると言い残して姿を消す。その夜、一行の目の前に恐ろしい鬼女が現れて、遊女の謡に合わせて本当の曲舞を舞い、四季折々に雪や花・月を訪ねる山めぐりの有様を舞い示し、大自然の雄大な姿を現す。



＜ＪＲ線＞
・総武線・東中野駅西口　徒歩８分

＜地下鉄＞
・大江戸線　東中野駅　Ａ３出口
・大江戸線　中野坂上駅　Ａ２・２出口
・丸の内線　中野坂上駅　Ａ２・２出口
いずれも徒歩８分

＜バ　ス＞
①関東バス（宿 05：中野駅経由）
新宿西口→野方行　宮下交差点下車

②関東バス（宿 05：中野駅経由）
野方→新宿西口行　東中野２丁目下車

③京王バス（渋 64：中野坂上経由）
渋谷→中野駅南口行　宮下交差点下車

④京王バス（渋 64：中野坂上経由）
中野南口→渋谷行　東中野２丁目下車

＊当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。

＊従来の入口が工事中のため矢印の通り迂回してのご入館をお願い致します。

〒164-0003　東京都中野区東中野　２－６－１４
公益財団法人 梅若会（梅若能楽学院会館）
TEL：03-3363-7748　FAX：03-3363-7749

【観能チケットとお願い】
◆正面指定席 10,000円・正面横指定席 9,000円・中脇正面自由席 8,000円・補助席 6,000円・学生席 4,000円
◆チケットは梅若会HPからメールまたは電話､ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/　TEL 03-3363-7748（不定休）・FAX 03-3363-7749)
◆梅若会定式能および梅流会のチケットはご利用できません。別途チケットをお求め下さい。
◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。　◆当日のクローク（荷物お預かり）は閉鎖させて頂きます。
◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当館は自主公演前に全館ウイルス除菌及び消毒を行います。着席は一席毎 、上演中も常に換気を行い密を回避します。
◆観能に際してのお願い
入館時における検温・消毒、個人情報の提出にご協力下さい。他のお客様へのご配慮として、マスク等の着用をお願いします。
当日は館内における飲食を禁止と致します。お客様ご自身による健康管理をよろしくお願い申し上げます 。
※個人情報は チケット裏面にご記入頂きます 。